

# 空手道の2020年オリンピック正式種目化を推進する会

## 2020 東京五輪に再びチャンス

### 「空手道推進議員連盟」発足 目指せ正式種目化



82名が入会した空手道推進議員連盟。東京五輪を目指し動き始めた。総会には68名が出席。



議連会長に就任した菅氏。



全空連を代表し、笹川堯会長が挨拶。



世界王者・宇佐美里香さんが演武した。

2020年東京オリンピック・パラリンピックで空手道が正式種目化実現を目標に、空手道関係者によって組織した会です。国内外を問わず広く一般社会に向けて、空手道の魅力、ニュース、インフォメーションを発信するとともに、空手道関係者へのフィードバックを通してオリンピックへの意識を高めることを目的とします。

## Latest News

### 最大の願い「五輪」へ 議員 82名集結

82名の国会議員によって「空手道推進議員連盟」が結成され、6月18日に設立総会が開催されました。議連結成の目的は、日本古来の武道であり世界中で人気を博す空手道のさらなる普及発展、空手道を通じた青少年の健全育成など多岐にわたりますが、なんと言っても一番の目標は2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける空手道の正式種目入り。

総会の中では発起人の一人、菅義偉内閣官房長官が「私自身、大学時代に空手道を通じて鍛えた精神が、今役に立っています。空手道の発展と五輪という2つの目標に向かって邁進したい」と挨拶。竹下亘氏より設立趣意・規約の説明、続いて役員人事が行なわれました。結果、菅氏が会長、高村正彦氏と石破茂氏が最高顧問、竹下氏が幹事長、佐藤正久氏が事務局長、笹川博義氏が事務局次長に就任しました。

また、全日本空手道連盟を代表して笹川堯会長が「議員連盟の発足は長年の願いでした。世界空手連盟のアントニオ・エスピノス会長も、大変喜んでおります」と感謝の意を述べました。

### 五輪種目見直しの動き 最大のチャンス

国際オリンピック委員会（IOC）では、トーマス・バッハ会長の就任以降、夏季大会の競技種目数を再検討する動きがあり、この好機を逃すまいとばかりに設立した空手道界初の議連。空手道は過去3度、五輪正式種目選考の俎上に上がりながらも、あと一歩届かず落選している。五輪の自国開催に加え、心強い「応援団」が結成されたことで、悲願達成に向けて帆を張る空手道界に、追い風が吹くことでしょう。

議連発足は全空連の歴史の中で重要な出来事でした。